

高遠中学校だより『高遠の子』

2023. 10. 18

No. 6

高遠中学校だよりはホームページでもご覧になれます。

<http://www.ina-ngn.ed.jp/~takatyu/>



伊那市立高遠中学校
校長 田中

個性が弾け、輝きが存分に放たれた！ 第65回聖桜祭、大成功！この成果を次につなげます。



白川実行委員長の
開催宣言で開幕！

全校の願いが込もっ
たステージバック！

立て看板の前で
はいポーズ！

フリーステージで
個性が満開！

2日間を思い返すとすごく楽しかったというのが一番の感想です。裏方の仕事も、発表する人になってやった時もどちらも楽しんでやっていたなと思いました。裏方の仕事は三年生のダンスにスポットライトを当てる仕事でしたがそれも楽しんでやっていました。そして、すごいなと思ったこともあります。それは三年生の姿です。聖桜祭が失敗することがないように前々から企画し次にやることを必ず把握してやっていたさすがだと思い、自分もそのような三年生になれたらいいなと思いました。(1年生)

去年は楽しむ側で、ただ単に楽しんでいただけ、今年は先輩の姿を見て学ぶ側で、去年とはまた違った立場だったし、視点だった。もちろん楽しめたけど、3年生の行動に尊敬した部分もあった。聖桜祭は3年生だけで作り上げるだけじゃなくて、全校の力、先生方の力で作るんだな、みんな一致団結して作り上げるんだなと、今回の聖桜祭で感じた。この二日間めっちゃ楽しめたし思い出がたくさんできた。こう思えたのは聖桜祭が大成功した証だと思うし、来年はもっと楽しい聖桜祭にしたいと思った。(2年生)

準備をしている段階で大変なこと、上手くいかないこと、ぎりぎりになってしまうことなど、たくさんあったけれど、無事成功してほんとによかった。自分たちの目標であった生徒会企画で全校が活躍できる場を設けて全校一人一人が活躍できている姿を見てよかったなと感じました。大変なことを乗り越えた先に見えてくるものってたくさんあるし、たくさんやりがいがあるなと思った。誰もが輝き、個性を放つことができた聖桜祭でした。(3年生)



学年を超えて
応援し合う姿！

トラブルがあっても
前向き笑顔！

職員も加わり
全校綱引きへ！

全力投球する
頼もしいリーダー！



後輩を精一杯応援する3年生

みなさん、楽しい時は本当にあっという間に過ぎ去っていきますね。一言でいうと「感動」と「充実」の聖桜祭でした。最後の3年生の学年合唱「信じる」に全てが現れていたと思います。今みなさんは、この聖桜祭2日間を創り上げるために、たくさんの時間を使い、たくさんの人とかかわり、たくさんの苦労や努力を重ねてきたことを改めて思い返しているのではないのでしょうか。クラス合唱や学年の出し物、委員会の仕事などがうまく進まなかったり、互いの気持ちが1つにまとまらなかったりして、どうしようかと悩み、時には嫌になってしまったこともあったのではないですか。

しかし、そこから逃げずに仲間や先生方と話し合い、苦労を分かち合い、努力してこられたからこそ、充実した2日間があったのだと思います。私は、聖桜祭を通してみなさんから学んだこと、感動したこと、発見したことなどがたくさんあります。

1つ目は、たくさんのファーストペンギンが出現したということです。つまり自ら進んで挑戦した人、恥ずかしいことやズクのあること、難しく諦めそうになってしまうようなことなどを、勇気を出して一歩踏み出してチャレンジした人たちが本当にたくさんいました。私はそんなみなさんを誇りに思います！

2つ目は、もうわかりますね、セカンドペンギンもたくさん出現したということです。勇気を出して一歩踏み出した仲間を、進んで手をさしのべたり声をかけたり温かく見守ったりして、応援する姿がたくさんあったことです。

3つ目は、ふだんの生活を大切にしてくれたことです。日ごろの学習の成果を真摯に発表する姿が、意見文や英語の発表、展示作品などに全て現れていました。そして、当日の朝も普段どおりに膝を床について黙々と取り組む清掃の姿や、準備・片付けの姿にも日々の取り組みがしっかりと現れていました。

4つ目は、みなさんの天井のない、無限の可能性を実感できたことです。たくさんのパフォーマンスがありましたが、どれもすばらしく、さらに今後磨いていけば、さらにすごくなる期待感しかありません。みなさんの表現力、発表力はすごいです。自信を持ってこれからもチャレンジして行ってほしいです。

最後に、ここまで中心となって聖桜祭をすすめてくれた白川実行委員長さん、網島生徒会長さんをはじめとする生徒会役員のみなさんお疲れ様でした。新たな聖桜祭を創造してくれてありがとう。きっとみなさんの足跡を1、2年生が引き継いでいってくれるでしょう。ぜひ、その陰には先生方をはじめ多くの方々の支えがあったことも忘れてください。1、2年生が活躍する姿がたくさんありました。それは、3年生がそうしていい雰囲気を出してくれていたからです。すばらしい3年生です！この聖桜祭が終わると、進路選択が迫ってきますが、ここまでできる3年生です。残りの中学生生活、精一杯進んでいきましょう。

終わりにになりましたが、ご来校いただきましたご来賓の皆様、地域の皆様、そして常日頃からあたたかく支えてくださっているご家族・保護者の皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。みなさんの明日からの活躍を確信して私の話を終わります。(9/30 閉祭式 校長挨拶から)



赤はねさんのオリジナル饅頭

○食に関わった本校の活動や取組がたくさんメディアで紹介されました！

9月13日 芝平なんばん入り信州ラーメンを作っていたいた！



地域コーディネーターの杉山祐樹さんの紹介で、ケーブルテレビで地元の食材を使ったラーメン作りを紹介する番組「塚田けんちのみんなの

らーめん」の撮影に2,3年生が参加しました。その具材の1つは生徒たちが育て収穫した芝平なんばんです。

当日は、塚田けんちさんとともに南箕輪村のラーメン店「麺づくり蒼空」店主の竹村泰治さんが調理をして、アシスタントでタレントの まりちゆうさんこと長澤茉莉奈さんが、出来たて熱々のオリジナルラーメン「芝平なんばんのうま塩バターラーメン」を生徒や職員に提供してくださいました。当日は、同じく芝平なんばんの商品化に取り組んでいる高遠高校の2年生10名も加わり一緒に試食しました。生徒たちは、「辛いけどおいしい!」「さすがプロだ!」と口々に笑顔で感想を伝え合いながらインタビューに応える姿がありました。

自分たちが苦勞して育てている作物が、こうして加工されたり商品化されたりして、まわりの人たちに喜びを与えたり笑顔にしたりできるんだ!という実感を得る貴重な機会となりました。

9月14日 芝平なんばんを使った学校給食

2,3年生で育てた「芝平なんばん」を使った献立が9月14日の給食で提供されました。栄養士の渡辺先生が、収穫した芝平なんばんをなんとか給食メニューに使えないかと考えた末、今回の「つくねのゆず胡椒だれ」が生まれました。生徒たちはゆずの香りの中にピリッと辛みの効いたタレがかかった鶏肉のつくねを楽しみました。またその様子が新聞記事等で紹介されました。



10月10日 伊能忠敬も食した江戸めし給食が提供されました!



伊那市で地域おこし協力隊として活動されている前田和宏さんと、信州そば No.1 プロジェクトコミュニケーションデザイナーの川井涼子さんが、8月24日、校長室にお見えにな

第7次測量 (忠敬 66~67歳)

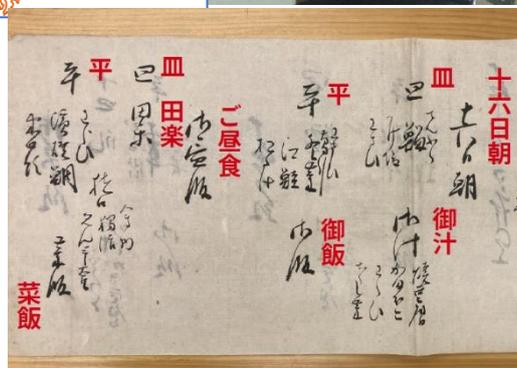
測量地: 九州東半・南部等
 出発: 文化6年(1809)8月27日
 帰着: 文化8年(1811)5月8日
 期間: 631日間
 距離: 7,405km
 費用: 全額公費負担
 隊員: 18人



りました。実は、前田さんが市内に所蔵されている古文書のデジタル化を進める中で、高遠図書館に1811年4月に伊能忠敬が率いる幕府一行が第七次測量のために同年この高遠町を訪れ、4月15日から4月17日まで3日間滞在したという記録が見つかったのです。そして、その記録には、なんと宿で提供された朝昼夕の食事献立も載っていました!

前田さんから、「この献立を学校給食で再現できませんか?」というご提案をいただき、この江戸めし給食プロジェクトが始まりました。

その後、栄養教諭の渡辺先生を交えての作戦会議が盛り上がり、「せっかくの機会だから、生





徒たちに給食だけでなく、伊能忠敬の足跡や成し遂げた業績などについても知ってもらう機会になれば」ということで、10月4日に「江戸めし給食事前授業」をしていただきました。

そして、事前授業を経て迎えた10月10日、江戸めし給食が本校と高遠小、高遠北小で提供

されました。当日、伊那市教育委員会とともにメディア8社が来校し1年生の教室を取材されました。多くのメディアに囲まれ戸惑う生徒たちでしたが、カメラを向けられ緊張しながらも、再現された献立を江戸時代の偉人の姿を想起しながら美味しそうに食する姿がありました。

思わぬ出会いから始まったこのプロジェクトを通して、生徒たちは食のありがたさとともに郷土の歴史や歴史上の偉人についても興味関心をもったようです。

○放課後パワーアップ学習室がスタートしました！



毎週火曜、木曜を基本に放課後 16:20 から 17:40 までの 80 分間、パワーアップ学習室が始まりました。本年度も8名の地域ボランティアさんに支援員としてご協力いただけることとなりました。初日となった10月10日、希望参加した生徒たちは、ちょうど定期テスト前だったことも

あり、数学や理科の出題範囲の教科書や問題集の分からない箇所を支援員の方々に気軽に質問しながら熱心に取り組む姿がありました。支援員の方々からは、「静かで真面目に取り組んでいます。」「塾へ行くより力がつくようやっています。」「笑顔で力強く感想や意気込みをお話くださいました。」

10月に入って部活動の時間も短くなっています。また冬期間は5時間授業も増やしていくので、ぜひ、放課後の時間を有効に自主学習に使ってみませんか！ボランティアさんたちも楽しみに生徒の皆さんの参加を待っています。これからも参加希望があれば担任の先生を通じて申し込んでください。

○第18回全国学校給食甲子園 第3次審査通過！北信越ブロック代表です!!!

全国の学校給食の献立を競うことを通じ食育を啓発し地産地消の奨励をめざし毎年開催されている全国学校給食甲子園。高遠町学校給食センター（本校所在）の栄養教諭である渡辺真理子先生が見事、全国で23名の代表者に選出されました。応募総数は全国で1079件、内、北信越からは272件、県内からは84件の多数の応募者の中での快挙です。審査対象の献立は、前述9月14日に給食で提供した「ごはん、牛乳、つくねのゆずこしょうだれ、かぼちゃと糸寒天のレモン和え、とうふのすまし汁」でした。高遠中学校区の児童生徒たちは、毎日このような全国トップレベルの給食をいただいていることになります。そして、本学校給食センターでは、毎日、栄養教諭、給食事務、調理技師たちが力を合わせて、安心・安全で美味しい給食を、チームワークよく作ってくださっています。その日々の努力が全国で認められたことをうれしく思います。今後、ますます給食の時間が楽しみです！



○教職員について

・栄養教諭の渡辺真理子先生が10月19日から産前休暇となります。健康で元気に12月のご出産を迎えていただけるようお祈りします！また、渡辺栄養教諭が休暇中の補充栄養士として、同日より中澤友里香先生をお迎えします。どうぞよろしくお願いたします。